

企業応援だより

Vol.1

～短時間雇用で信用力UP～

短時間雇用を取り入れて、人材の有効活用をされている企業様のインタビューをお届けします。

Q. 1 短時間雇用とは何ですか？

仕事を重要度・緊急度という視点で整理し「重要だが緊急性の低い業務」を、1日に2時間程度、障害のある方に担当してもらっています。

●「要不急」の仕事の存在●



Q. 2 どんな仕事を任せていますか？

「目視による外観全数予備検査」をお願いしています。当社は少量多品種生産を得意としていますが、全数検査にまで手が回らないのが悩みでした。

Q. 3 雇ってみていかがでしたか？

想像していたよりも、仕事ができるなと思いました。彼は、障害の特性上こだわりの強い方で、異質なものを見抜くという類まれな能力を有しており、細かなキズも見逃しません。検査業務に配置することで品質向上、信頼性の向上に繋がっていると感じています。

また、他の従業員が検査に従事する時間が減ったことで、働き方改革にも繋がっていると思います。

Q. 4 受入れにあたって、工夫した点はありますか？

こだわりの強い方だったので、配慮も必要でした。例えば、自分の中で質問する相手を私1人に決めており、作業途中で疑問があると、私が不在の際は作業が進まないといったことがありました。そのため、事前に正誤サンプルを用意するなど、スムーズに作業ができるよう工夫しました。その他、配慮事項については、就労支援機関が相談にのってくれました。

人材の有効活用を検討中の企業のみなさまへ

製造業は工程がたくさんあるため、特定の作業内容だけを切り出し、短時間雇用に充てるのに向いていると感じています。仕事内容とマッチすれば、定着率も高いです。また、地域に根差した企業として、地元の障害者を雇用することは地域貢献にもなり、企業価値の向上に繋がるものと考えています。



株式会社スタックス
代表取締役社長 星野 佳史さん



株式会社ヒラミヤ
代表取締役 平宮 健美さん

Q. 1 どんな仕事を任せていますか？

週4日、1日4時間、3DCADのオペレーターとして働いてもらっています。

CADの経験を活かし、仕事にも実直に取り組んでくれています。

また、手が空いているときは、過去に依頼のあった案件をモデリングするなどして、日々、技術の研鑽に励んでくれています。

Q. 2 雇ってみていかがでしたか？

専用ソフトをいくつか使い分けて、作業をしていく必要がありますが、とても根気よく取り組んでくれています。

以前、ご自身が会社に貢献できているのかと、悩まれた時期がありましたが、知識を増やすことで任せられる仕事が増え、活躍の場が徐々に増えていくので、心配しなくて良いと伝えたところ、少し不安が払拭できたようです。

目的を伝えることで、さらに意欲的に取り組んでくれていると感じます。

Q. 3 受入れにあたって、工夫した点はありましたか？

採用にあたっては、職場見学と職場実習を実施しました。事前に職場環境や仕事内容を知ってもらい、お互いに確認することができました。また、現場の社員にも事前に障害のある方と一緒に働くことを伝え、理解をしてもらいました。

仕事を依頼する際は、仕事の見通しが立つようお願いすることを心がけています。また、毎日終業前に疑問点などを伝えられる時間を設けています。作業中に出てきた疑問点をその日のうちに解消できるため、安心して繋がっているようです。

人材の有効活用を検討中の企業のみなさまへ

当社は、これをやらしてもらえたら助かるという業務をお伝えしただけで、企業応援センターかわさきの方が、その業務ができる方を見つけてきてくださり、職場見学と職場実習までサポートしていただきました。当社に必要な人材に働いてもらうことができ、助かっています。まずは、“やらしてもらいたいこと”を探すことから、はじめてみませんか？

企業応援センターかわさき

仕事の創り出しからお手伝いします！

川崎市障害者等雇用推進・就労援助事業
社会福祉法人 県央福祉会（川崎市委託事業）

〒210-0001
神奈川県川崎市川崎区本町2-8-14 松永ビル802号室
TEL：044-589-8231/ FAX：044-589-8236
E-mail:kigyoun-ouyen@tomoni.or.jp

【窓口開所時間】

平日 9:30～17:30
土曜日/日曜日/祝祭日/
年末年始は休み

【費用】

相談に関する費用は無料

【対象】

川崎市内に事業所のある企業等



Colors, Future!
川崎市

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課